

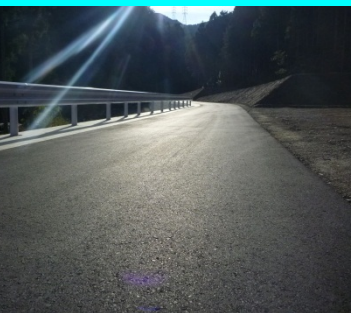
### = 内谷工事完成 =

内(うち)谷では、11月17日に完成検査を実施。思い返せば、5月と9月(写真①)に切り直し道路が被災し、工事が2回中断。大きな手戻りを受けたにもかかわらず、現場作業者の熱意と工夫で遅れを取り戻し、無事完成にこぎつけた。

写真②は築造した林道と完成検査時の様子。担当技術者にこの号への参加を呼びかけたが、今回は出演を見送り。出演せずとも完成した道路が、技術者の熱い思いを物語る(写真③)。



② 少し遠いが、検査時の様子。榊ヤマモトの技術者による説明がなされている。



### 防災に対する備え ~越美の取組~

11月27日、直下型地震により天然ダムや、地すべり、同時多発的に発生する土砂災害が発生したと想定し、大規模土砂災害合同防災訓練を揖斐川町役場庁舎にて開催。この防災訓練には、岐阜県、本巣市、揖斐川町、揖斐建設業協会、国土交通省などの職員が100名以上参加し、大規模災害に対する対応能力の向上を目指し、土砂災害防止法に基づく緊急調査等のロールプレイング方式の訓練を実施した。



この防災訓練を通じて、災害時の情報の共有・伝達などに関する現状の課題を把握するとともに、関係機関の連携強化を図ることも目的としている。

平成23年4月の組織改革により西濃地域で唯一の国土交通省の事務所となった越美山系砂防事務所的重要性を感じつつ、当事務所職員は防災に対する意識の向上を図る。



### 敷原谷で研修会開催!

砂防ソイルセメント工事が進む敷原(写真④:しきはら)谷では、職員等10名が参加し、11月29日に現地研修会を開催。出張所長による工事概要説明の後、レーザー測距機や三角定規を用いた簡易測量方法などの研修を行った(写真⑤)。

また、現場代理人より砂防ソイルセメントの施工の留意点・苦労した点の説明を受けた(写真⑥)。



⑤ 出張所長の三角定規理論。災害時には時として身近な道具の活用が必要不可欠だ。



### 虹の架かる町ー揖斐川町

越美山系砂防事務所は、岐阜県揖斐郡揖斐川町に事務所を構えている。この揖斐川町では、空に虹のかかる日が多い(気がする)。地域の住民の希望が町の空に七色のアーチをかけるのであろうか?

皆様も七色のアーチ、揖斐川町に来て探してみませんか?

